

あすの調布

<http://www.chofu-jc.co.jp>



新年あけましておめでとうございます。新たな年の幕開けを、これほどまでに緊張しながら迎えたのは本当に久々な事であります。昨年の後半から、我々を取り巻く経済環境は非常に厳しく、あらゆる場で挨拶を聞くと冒頭の言葉はまるで決まり文句であるかの様に同じ話から始まります。

メンバーの皆さん、是非ともこの様な時期であるからこそJICをやっている意味合いを更に深めていただきたいのです。「もっとJICを好きになろう!」「仲間を理解しよう!」「共に助け合おう!」そして、『新しい仲間を増やそう!!』

いやいや過ごしても、楽しく過ごしても、2009年という1年は誰にでも平等に流れてゆくものです。おなじ時間を過ごすなら苦しいよりも「楽しい」方が良い!! おなじ事をするなら辛いよりも「楽しむ」方が良い!! 嫌なことや辛いことの中から「楽しみ」を見つけ出して行ける「たくましさ」を持つと!!

楽しそうに過ごしている人の周りには自然と人が集まるものです。「熱く!」「楽しい!」1年を皆と共に過ごしてゆきたい。1年間よろしくお願ひします。

第39代 理事長 梶原良介

理事による本年度の抱負。



副理事長

渡辺 弘樹

新年あけましておめでとうございます。

昨年度は副理事長兼務委員長として会員拡大と指導力の2つの委員会を少し離れた視線で見ている、委員会運営などで委員長が困ったときに分かり易くアドバイスを送っていたと思います。そして、来年度は40周年という節目の年でもありますので、少し自分自身を締めながら仕事とJIC運動を頑張っていきたいと思っています。最後になりますが、昨年度とは違い本年度は笑顔で優しい副理事長へ変貌していきたいと思います。1年間皆様よろしくお願いたします。



副理事長

中村 陽一

07、08年度は委員長として理事長の想いを具現化するための発想力・行動力を学びました。2009年度、副理事長という大役を仰せつかり、個人の想いだけでなく、調布青年会議所39年間の想い(ビジョン)を熟考し、会議所組織として副理事長

織として副理事長職を1年間学び、全うしたいと思えます。また、担当の総務啓発委員会、青少年育成委員会は過去2年間委員長職を経験した委員会です。2年間の恩返しの際をいただきました。理事長の想いを伝え、会議所として継続性を持たせ、そして委員会メンバーが思い切った行動できる環境を全力でサポートしたいと考えます。



1年間、ご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願いたします。

副理事長

大前 勝巳

明けましておめでとうございます。私は名古屋出身で、誰一人知り合いがいない中、2000年に調布に来て現在ではNPO法人の理事長を務めさせていただきました。数多くの市民団体と関わっています。この全てのきっかけの1つとなりかけたのが



間違いなく、調布JICです。今までの経験や学んだことを活かし、この調布JICを通して、調布の「まちづくり」に少しでも貢献できるよう、今年、まちづくり担当の副理事長を務めさせていただきます。1年間という限られた時間の中ではありますが、担当の荒井委員長をサポートしながら、誠

心誠意務めていく所存です。何卒よろしくお願いたします。

会員開発交流委員会 委員長

後藤 文蒼

新年あけましておめでとうございます。本年度、会員開発交流委員会の委員長を担いいたします後藤でございます。

私どもの委員会では会員拡大を担う委員会ではありますが現状は・・・

本年のご入会が無理であれば、2年後、3年後の入会いただけるような交流関係を築きければと考えております。



新年早々ピンチな委員会を含めた委員長ではありませんが、ルパン三世はピンチになると叫ぶ。「さあ、おもしろくなってきたぜ次元！」1970年組の小野副委員長、洪川副委員長、村越総括幹事にはピンチばかりで恐縮ですが、行政、諸団体、シニアクラブ、同志諸兄皆様方のご協力を賜り、40周年につながり、実りある1年間を過ごせるよう邁進する所存でございます。どうぞ宜しく御願申し上げます。

会員開発交流委員会 副委員長

小野 肇

2009年度、会員開発交流委員会の副委員長をさせて頂くことになりました小野です。当委員会は、新入会員の方が最初に配属される委員会ですので入会された方が、今の(社)調

布青年会議所の活動

動において質問、疑問等を聞かれる機会が多いと思えます。その機会あることには確かな答えを目指しますが、なにも私自身が2006年入会と歴浅いので、皆様からのご指導どうぞお願いいたします。



また、新入会員の方々と一緒に学んでいくことにより私自身が入会したときの不安や感動、発見の再確認をできれば思っております。

どうぞこの1年間宜しくお願いたします。

会員開発交流委員会 副委員長

洪川 潤

今年度会員拡大交流委員会・副委員長をさせていただきます。洪川潤です。初めての理事と一言う事で楽しみなのと不安とが半分半分ですが、後藤委員長、小野副委員長、又委員会のメンバー方々に教わりながら、委員会を盛り上げたいと思っておりますので、一年間よろしくお願申し上げます。



人・心指導力委員会 委員長

小川 陽一

新年明けましておめでとうございます。今年度梶原理事長のもと、人・心指導力委員

会委員長を仰せつ

かりました小川陽一です。一年間よろしくお願いたします。もう一度自分自身の再確認として地域、社会のリーダーを担う上で、自己能力の向上、スキルアップのための例会や委員会を開催していきたいと思えます。



人・心指導力委員会 副委員長

片桐 道祐

2009年度「人・心指導力委員会」の副委員長をさせていただきます片桐道祐です。よろしくお願致します。



私は、一昨年度会させて頂いてからまだ一年半ほどしか経っておりません。また、住まいが調布市市内ではありません。にもかかわらず理事長を初めとするメンバーの皆様は温かく受け入れていただきとてもうれしく思っています。そして今年、副委員長という役職を与えていただきとても感謝しております。

指導力委員会ということですが、今年一年はメンバー皆さんと指導力におけるスキルを向上するのは勿論、その上で指導力の基本ともなる人間力を高めていけたらいいのではないかと思っています。そのような事業が出来ればとも思っています。

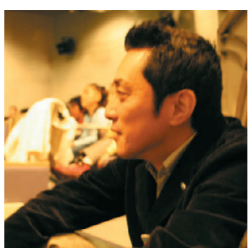
小川委員長の下、一生懸命がんばって生きて

いと思えますのでよろしくお願致します。

青少年育成委員会 委員長

加藤 雄一

2009年度、青少年育成委員会委員長を務めさせていただきます。加藤です。よろしくお願いたします。理事長所信に掲げられる「家族愛」「地域愛」を理解し、実践して参ります。



先日、甲州街道沿いの歩道に額から出血して倒れている老人がいました。その姿を道行く人々は手をさしのべることもなく無関心に横切っていました。信号が変わり、止血でもするか、と近くに歩いたところ、介抱する一人の青年の姿がありました。意識が朦朧としていた老人へ冷静に声掛けを行っていました。幸い意識もはっきりしてきて、救急車を呼ぶには至りませんでした。青年と私は肩を貸し、お酒の残る老人が「この近所に住んでいる」というアパートまで付き添いました。

「愛」って何だろう。愛情の反語は無関心。帰り際、何で助けたの？と彼に訊いた。「ほっとけないんですよ。ただそれだけ」。尋ねた自分がちよつと恥ずかしくなった。ほっとけない、の気持ちを実行に出せるように私を含め委員会一同、学びたいと思えます。

青少年育成委員会 副委員長

井上 耕志

あけましておめでとうございます。2009年度青少年育成委員会副委員長を務めさせていただきますことになりました井上耕志です。2006年度に調布青年会議所に入りました、はじめての理事としての一年を過ごさせていただきます。これからの次代を担っていく青少年を育ていけるような素晴らしい事業をみなさまがたと共に作り上げていくことができると思っております。



地域の宝である子どもたちの目がきらきら光るようなまちづくりのお手伝いをしていけるように加藤委員長ともども仕事をさせていただきますので、一年間どうぞよろしくお願いたします。

総務啓発委員会 委員長

松永 和磨

梶原理事長、中村副理事長より「和磨！総務やれ!!」から始まり、諸先輩方から、「お前が総務かよ!!(笑)」「なるほど・・・!」(社)調布青年会議所、本当に良い所ですね。自分の足りない所として、欠点ガッツリと指摘してくれました。そして、先輩方か



ら教わった人生ゲーム。最近よく理解してきました。09年度 組織の運営サポートしっかりと行っていきます。

総務啓発委員会メンバー共々、1年間どうぞ宜しくお願い致します。

総務啓発委員会 副委員長

和田勝幸

あけましておめでとうございます。2009年度、総務啓発委員会 副委員長を務めさせていただきます。

本年度理事長と同期入会で、とうとういかようやくという立場を仰せおせつかりました。理事という立場で青年会議所活動は初めてですが、今までは違う視点や考え方ができると思います。



総務系の委員会ということで、表立った事業は7月の納涼懇談会一回だけで後は裏方の仕事が多数ですが、

松永委員長の下、調布青年会議所を支えるつもりで邁進してまいります。

そして、理事長所信にあるように2009年が私自身も成長し『感動の追求』ができるような1年間であるようにして参りたいと考えております。どうぞ1年間よろしくお願いたします。

続・まちづくり委員会 委員長

荒井一如

本年度、当委員会を受け持つにあたり、まず

お願い致します。

専務理事

原島秀一

皆様、新年明けましておめでとうございます。青年会議所は、一年一度組織が変わり、その中で自身の役割も変わっていく単年度性の組織であります。2008年度、私は事業系の委員会の委員長として、青年会議所の目的に則った事業を委員会メンバーと「ともに考え」、「ともに作り上げていく」という経験をさせて頂きました。その過程の中で、委員会運営や事業に対しての不安感も多く、また、自分自身落ち込むことも非常に多かったのですが、喜びや自信といったものも感じられることができました。入会して以来、「様々な気づき」を感じる経験をさせて頂きながら、一步一步階段を上りながら、少しずつ成長をさせて頂いていることを感じております。

私は、2006年度に(社)調布青年会議所に入会して依頼、様々な方々と巡り会い、影響を受けながら、その一年の積み重ねの中で自分自身成長させて頂いていることに本当に感謝しております。

2009年度、私は、専務理事を務めさせて頂きます。専務理事という役割は、(社)調布青年会議所の運営上、理事長の代弁者として、全体を見回しながら、時には、メンバーに厳しいことを強気に言わなければならぬことも多いと思います。メンバー皆に発信し、



考えましたのが、委員会名も示すように「継続」という言葉です。「まぢをつくる」とは「ロームは1日にしてならず」といわれるように、一朝一夕では出来ないものであり、一つ一つの積み重ねのもとと出来上がっていくものだからです。



当委員会が次年度考え、行なうことは事業内容にもある「市民討議会」であり、これは市民・行政・中立団体の三位一体で行なわれている議会手法であり市民の「まぢ」に対する「声なき声」を聞きまた拾い、より良いまちを作っていく為、行なっていくものです。

よってこの事業は、単年度では、意味が薄く継続して行なうことに本来の意味が有り、次年度としてもこの「市民討議会」開催あるいは開催に向けての準備を行なう事が目的です。

この事業内容は08年度まちづくりENJOY委員会の原島委員長、梶原理事長の考え(思い)を私たちが引き継ぎ、また、次年度へと、当委員会のメンバーの1人1人に、また会員に繋がる様に出来ればと思います。

最後に運営方針として、以下の事を掲げていきたいと思ひます。

1. 時間を無駄にかけない。(委員会時間を決め、出来るだけ時間内に行なう)
1. 一人一人の意見を大切に。(どのような意見でも、真摯に受け止め皆で考える)
1. やる時はやり、楽しむときは楽しむ。(気づき考える事、意見だしなど物事を楽しむ。当然、懇親も)

それを聞いて頂くためには、自分自身に厳しくなければならぬことはもちろんですが、皆様方との信頼関係がなければ言えることではないと思ひております。

2009年度、私は、常に「感謝の気持ち」と「謙虚な気持ち」を忘れず、メンバー皆との信頼関係を築いてまいりたいと思ひております。一年間、どうぞよろしくご指導下さいますようお願い申し上げます。

副専務理事 財務担当理事兼任

川端宏志

2009年度、副専務兼財務担当理事を務めさせて頂いた皆さま、川端宏志です。理事長、専務の補佐的な役割と共に青年会議所の大蔵省としてしっかりと周りを見ながら任務を全うしていきたいと思ひます。また、いろいろな委員会にお邪魔させて頂いた皆さまのこのを見て学んで行きたいと考えております。事業ではありませんが、メンバー間の交流、家族会の設営など多方面にわたって皆様が懇親を深められるよう、がんばっていききたいと思ひます。



本年度、監事という大役を仰せつかり光栄に存じます。監事と言う役目は、同じメンバーでありつ

監事

金子剛

本年度、監事という大役を仰せつかり光栄に存じます。監事と言う役目は、同じメンバーでありつ

続・まちづくり委員会 副委員長

小山晃一郎

2009年度「続・まちづくり委員会」の副委員長をさせて頂いた皆さま小山です。よろしくお願致します。

まず初めに「続・まちづくり委員会」の基本方針を全うすべく、委員会メンバーと力を合わせて1つ1つの事業、委員会を行っていききたいと思ひます。

また個人的には、1つの目標を持って取り組みたいと考えております。それは、「人にやさしいまちづくり」です。

例えば、街には官公庁施設、道路・公園などの公共施設の他に、多くの民間の建物があります。このような建物や道路・公園などの段差を無くし、バリアフリー化をしたとしても「人にやさしい街」にはなりません。



点字ブロックの上に自転車を置く人がいれば、それを必要としている方にとってはバリアとなってしまうからです。

困っている方がいたら声を掛け、必要であれば手助けをする。そこに住む人たちが「配慮の心」の大切さに気付いていただけるよう、自らが率先して行動していきたいと思ひます。

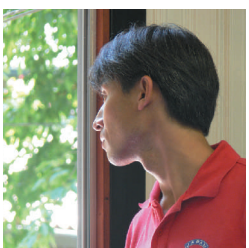
長期ビジョン策定委員会 委員長

山本征博

本年度、初！委員長を務めさせて頂きます。担当事業は3つ。まず本年度のスタートとなる

も組織の動向を常に客観的な目で見

ていかねばなりません。理事会においての会議や運営がしっかりと健全に機能しているか。各事業が単なる自分たちのマスターベーションで終わっていないか等。



この調布JICが「仲よしクラブ」に陥ることなく、メンバー同士常に刺激し合い、成長し合えるような組織となるべく天沼監事と共に、時には厳しく、時には和やかにメリハリをもって職務を全し、梶原理事長をサポートできるように務める所存です。1年間どうぞよろしくお願申し上げます。

監事

天沼寛

新年明けましておめでとうございます。2009年度梶原理事長の下、監事という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。今まで経験した理事と異なり、本年はJICを一步引いた立場で関わりますので、そこで見えるものを的確に捉え、善し悪しの判断ができるように常に心がけたいと思ひます。そしてLOMの健全性や理事会の議事が適正を保たれるよう、声だかにメンバーの皆様を訴えかけていきます。役に徹し信念を持って取り組みますので、何卒、1年間よろしくお願



『新春地域懇談会』。梶原丸が厳かな中にも華々しく船出できるよう会員全員の協力の下、一丸となって取り組みます。

『公益法人制度改革』については、昨年度、専務として調査研究したものをさらに一歩踏み込んでメンバーに発信していきます。

『中長期的なLOMビジョンの策定と提言』については、基本方針にあるとおり来年度迎える40周年以降の調布JICが『明るい豊かなまち調布の為に光り輝く』には何をすべきかをまとめていきます。

委員長以下4名という小さな委員会ですが、『一騎当千』を合言葉に一年間がむしゅらに突き進んでいきます。

長期ビジョン策定委員会 副委員長

芝村麻

今年度副委員長という大役を仰せつかり、大変恐縮しているのと同時に期待と不安を抱えています。山本委員長をはじめとする委員会メンバー、並びに会員の皆様のお力をたくさん借り、梶原丸の船体に穴を開けないよう一つ一つの事業を大切に、また笑顔を忘れずに実践して参ります。5年、10年先、調布JICが光り輝くよう、礎の一つとして精進していく所存です。



ご指導、ご鞭撻の程何卒よろしく

致します。

直前理事長

新國政和

新年、明けましておめでとうございます。謹んで新春の御慶びを申し上げます。

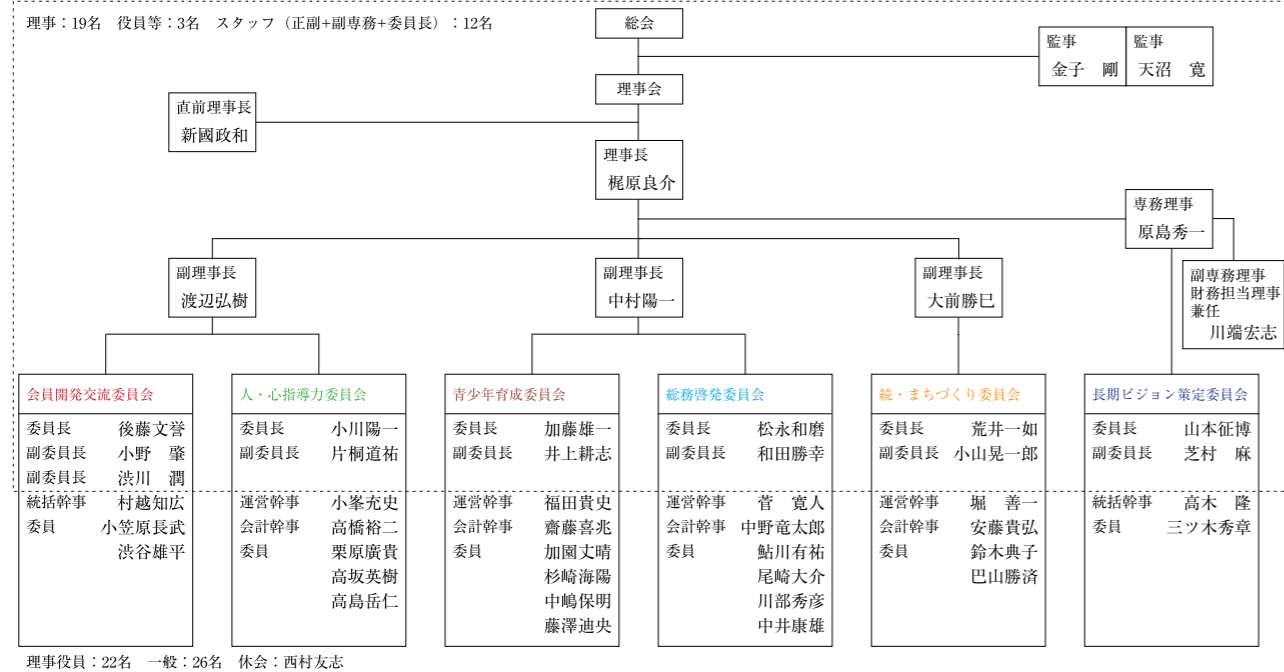
昨年度は理事長職を全うさせて頂きました。皆様方には在職中において多大なるご理解と協力を賜り、誠にありがとうございました。本年度は梶原理事長の相談役として、そして東京ブロック副会長としてLOMに波動を伝える事を役目として取り組み、フィードバックできるLOM環境づくりの構築を目指します。

ある意味JICとは『究極の異業種交流』だと考えています。様々な業種の経済人が集まり、独創的な発想の持ち主や堅実的な考え方の持ち主等、様々な個性と知性が集まっています。それらのメンバーが一同に集い、共感し、時には反発し合いながら個々の資質を磨きあうことで、やがて自分にフィードバックされ、ひとは成長していきます。このような素晴らしいJICをさらに進化させ、発展させていくことがすなわち、社会・地域に対し「あるべき姿のあるべき役割」を示せるということではないかと考えています。



感動の追求！本気が伝わる行動力を持って09年度を最大限高めるために、梶原良介理事長とそして皆様とともに誠心誠意取り組んでまいります。1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。

2009年度 社団法人 調布青年会議所 組織図



2009年度 社団法人 調布青年会議所 事業計画日程表

月 日	事業	担当
1 12日	◇東京ブロック賀詞交歓会（立川）	専務理事
22～25日	◇京都会議	副専務理事
22日	★新春地域懇談会	長期ビジョン策定委員会
2 21日	★通常総会	総務啓発委員会
3	★例会	統・まちづくり委員会
4	◇日本JC総会（東京）	専務理事
	★例会	人・心指導力委員会
5	★わんぱく相撲調布場所	青少年育成委員会
	★例会	会員開発交流委員会
6	○わんぱく相撲東京場所（府中）	青少年育成委員会
	◇東京ブロック会員大会（あきるの）	専務理事
	◇ASPAC（長野）	専務理事
7 4～7日	★例会（納涼）	総務啓発委員会
	◇サマーコンファレンス（横浜）	副専務理事
8 25～26日	★例会	長期ビジョン策定委員会
9	★例会（臨時総会）	総務啓発委員会
	★例会	会員開発交流委員会
10	★例会	青少年育成委員会
	★例会	人・心指導力委員会
	◇全国大会（沖縄）	副専務理事
15～18日	◇さよならブロック（立川）	専務理事
26日	★例会	統・まちづくり委員会
11	◇世界大会（チュニジア）	専務理事
12 15～21日	○福祉まつり	青少年育成委員会
	★通常総会	総務啓発委員会
	★卒業例会	会員開発交流委員会
19日	◇さよなら関地区（横須賀）	専務理事

スローガン

『感動』の追求!! 本気が伝わる行動力
～ 確立しよう存在感ある新しいJCのかたち ～

基本方針

- やさしさ・自立・覚悟に裏づけされた人間性の向上とまちから必要とされるリーダーの育成
- やさしさと厳しさを兼ね備えた「家族愛」「地域愛」で我々の宝（青少年）を育成する
- 「公」への責任感と自覚をもち市民＝主人公となる地域の実現
- 地域ネットワーク・地域特性を最大限生かし我々が活力ある地域産業経済の起爆剤となる
- 40周年以降の調布JCが光り輝くためのビジョン策定と公益法人制度改革への対応

全体事業

- わんぱく相撲調布場所

会員開発交流委員会

- 会員研修プログラム事業の開催
- 災害に強いまち・意識向上の実現に向けた事業の開催
- 卒業例会の開催

人・心指導力委員会

- まちづくりにおけるリーダーシップ向上に関する事業の開催
- 経営資質向上に関する事業の開催
- 会議進行能力向上に関する調査・研究・発信

青少年育成委員会

- わんぱく相撲調布場所の実施
- 青少年健全育成に関する事業の開催
- 福祉まつりへの参画

総務啓発委員会

- 総会の運営
 - 「あすの調布」の発行
 - ホームページの運営
 - 納涼懇談会の開催
 - 「調布JCの窓」の発行
- <管理分野>
- ・会員名簿の作成
 - ・発送物の管理
 - ・理事会運営補助
 - ・事務局管理
 - ・褒賞申請補助

統・まちづくり委員会

- 地域産業経済の活性化に関する事業の実施
- 市民力・市民意識向上に関する事業の実施
- わがまち調布に関する調査・研究・発信

長期ビジョン策定委員会

- 新春地域懇談会の開催
- 中長期的なLOMビジョンの策定と提言
- 公益法人制度改革の対応に関する調査・研究・発信

専務室

- （社）日本青年会議所及びブロックへの褒賞申請への実施
- 他団体事業への参画・協力
- 各種大会・会議参加のとりまとめ調整
- 出向者等の連絡と管理・対応
- 他LOM・地域関係諸団体との連絡窓口

シニアクラブより

新春にあたり

調布青年会議所シニアクラブ
会長 金子日出澄



新しい年を迎え、梶原良介理事長はじめ現役メンバーそれぞれの年度目標に向けて決意を新たにしていることと思います。本年もシニアクラブは、JICの最大の理解者として懐深く皆さんの活動を見守り、応援して参りたいと思います。

企業の社会貢献や特定分野に特化したNPO活動が盛んになるにつれ、あらためてJICの存在意義や社会的使命をメンバー一人一人が再確認し、社会課題を的確に捉えて事業方針や行動に反映させていく必要性を強く感じます。なんとと言ってもJICの最大の強みは、同世代ならではの阿吽の呼吸で事を成し遂げるマンパワーと、多様な業種の人材からなるネットワークです。高い専門性と豊富な経験に基づく実践ノウハウを持つNPOは数多くありますが、常に新しい血が入り衰えることのないマンパワーを維持し続けることのできる組織は、JIC以外にありません。この強みを大いに活かし、他のNPOや企業と連携しながら、まちの総力を結集するようなダイナミックな事業展開を進めてほしいと思います。

JICでの失敗経験は、後につながる財産です。自分たちのできる範囲にとどまらず、やや背伸びして自分の可能性を広げる努力を続けてください。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

- 役員
- 会長 金子日出澄
 - 副会長 原島敬之
 - 副会長 秋沢淳雄
 - 監査 林 清一
 - 名譽顧問 荻本 貞臣
 - 顧問 川端 桂
 - 顧問 金子春男
 - 顧問 新国 栄
 - 顧問 瀧柳嘉市
 - 顧問 新田重彦
 - 顧問 山口昌之
- 事務局
- 事務局長 内田 眞一
 - 会計 片桐達也
 - 事務局員 根本哲也
 - 事務局員 元木律子
 - 事務局員 鈴木宗貴
 - 事務局員 藤森秀樹
 - 事務局員 佐々木直人
 - 事務局員 日高壽彦
 - 事務局員 野口康平

クラブ案内

(社)調布青年会議所の会員により運営されるクラブです。委員会とは異なり、会員の親睦を深めることを目的とします。ご興味のある会員はご参加をお待ちしています。

■じゃがいもクラブ(ゴルフ部)
会長 片桐道祐
年4回開催されるゴルフコンペを通しての会員相互の親睦を図ります。

■バタータ(サッカー部)
部長 齋藤喜兆
おおよそ月1回の練習を通して会員相互の親睦と健康増進を図ります。可能であれば大会への参加も。

■ポテトクラブ(野球部)
部長 渡辺弘樹
野球を通して、会員相互の親睦並びに他LOMとの交流を図ります。

■ムサシノアスリートクラブ(自転車、ランニング、水泳等)
部長 安藤貴弘
調布のみならず、他LOMのメンバーも参加できるよう、「ムサシノ」と名付けました。各大会へ積極的にエントリーし、スポーツを通じて親睦を図ります。

■写真部
部長 加藤雄一
あすの調布をはじめ、広報に使用する写真を撮影することが目的。大晦日に事務局にてスライドショーを開催します。

人のために
まちのために
そして
自身のために。



素敵な仲間をつくりましょう。

新入会員紹介

岡本英雄 (38)
勤務先：東亜空調株式会社

柳川一郎 (36)
勤務先：有限会社 柳川式典

野崎壮吉郎 (32)
勤務先：株式会社 花野

前村久美子 (32)
勤務先：ロア・ユナイテッド社 労務士事務所

榎本陽介 (34)
勤務先：株式会社 東京紙管製造所

杉浦隆史 (27)
勤務先：株式会社 リハート・リック

嵐 裕子 (35)
勤務先：社会福祉法人 調布市社会福祉協議会

賀正

あけましておめでとうございます。主人が理事長を務めるということなので、皆様には本当にお世話になる事と思います。一期一会、人との出会いを大切に、皆さんと素晴らしい一年間を過ごしてください。家庭の方は心配せず、大好きなJCをやりながら、たくさん働いて、たくさん遊んでください。皆様、主人を宜しくお願ひ申し上げます。

梶原未奈子